

【別冊】

総務教育常任委員会資料

(平成30年5月21日)

【項目】

ページ

- 5 「来んさいな 住んでみないや とっとり」県民会議の開催結果について
【とっとり暮らし支援課】・・・1
- 6 女星活躍とっとり会議の開催結果について
【女性活躍推進課】・・・3

元気づくり総本部

「来んさいな 住んでみないや とっとり」県民会議の開催結果について

平成30年5月21日
とっとり暮らし支援課

地方創生の一つの柱である、都会から鳥取県への移住定住を県民一体となって推進するため、産学官金労言の代表者に御参加いただき、「来んさいな 住んでみないや とっとり」県民会議を開催しました。

県民会議では、若者の県内定着・県外からのIJUターン促進や、関係人口の拡大について意見交換がなされ、今年度の移住定住促進に向けた様々な取組に産学官金労言が一致団結して取り組んでいくことが決定されました。

1 日時 平成30年5月17日(木)午後1時から2時まで

2 場所 鳥取県庁 講堂

3 出席者(21名)

産業界(産):鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、
鳥取県経営者協会、鳥取県経済同友会、鳥取県農業協同組合中央会、
鳥取県森林組合連合会

大学等(学):鳥取大学、公立鳥取環境大学、藤田学院

行政(官):鳥取県、鳥取県市長会、鳥取県町村会、ふるさと鳥取県定住機構、鳥取労働局

金融(金):(株)鳥取銀行、(株)山陰合同銀行

労働(労):日本労働組合総連合会鳥取県連合会

報道(言):日本海テレビジョン放送(株)、(株)山陰放送、(株)新日本海新聞社

4 若者の県内定住・関係人口の拡大に関する主な意見

＜若者定住に効果的・必要な取組＞

- ・県内大学卒業生のうち県内高校出身者の県内定着率が高い傾向があり、高大連携を徹底的に行うことが重要である。
- ・学生は県内の企業(就職先)情報を知らないので、学生に県内企業を知ってもらい取組を強化していかなければいけない。企業の方にも積極的に大学に来ていただきたい。
- ・都会でのIJUターンのイベントにおいて、県内大学のブースをつくってPRしてはどうか。
- ・中高生に対して奨学金制度を周知する際に、県内に就職する大学生等の奨学金の返済を助成する制度(鳥取県未来人材育成奨学金支援制度)も一緒にPRしてはどうか。
- ・子どもの頃から、鳥取を大事にし、鳥取に誇りを持つことに繋がるような取組が必要だと思う。そういう思いがあれば、いずれは帰ってくるのではないかな。

＜関係人口の拡大に向けた取組＞

- ・関わりのない方々に関わってもらうためには、受け身の人に情報を届けることが大事だと思う。移住者は、移住して魅力を感じたことなどを共有したい気持ちがあるので、SNSで発信し話題としてもらうような取組をしてはどうか。

5 県民会議が一体となった若者定住・関係人口拡大に向けた新たな取組

若者定住と関係人口拡大に向けて、これまで以上に産学官金労言の連携を強め、一体となって以下の事業等を検討・実施していくことを決定した。

＜県民会議での新たな取組事業例＞

- ・若者定住:若者に向けてSNSで県民会議参加機関等が順番に企業・暮らしの魅力情報を発信(リレー式情報発信)、IJUターンを促す動画の制作、移住定住促進強化月間(8月・12月)の創設・取組、若者向けガイドブックの発行
- ・関係人口拡大:東京の若者に鳥取県の魅力や鳥取県で活躍する若い社会人のライフスタイル(仕事・趣味・生活・地域活動など)を知ってもらいとともに、本県と継続的につながりを持つ機会・きっかけとなる交流会の開催



【鳥取県への移住状況（平成29年度速報値）】

鳥取県への移住状況について、平成29年度の速報値がまとまり、過去最多の2,127人となりました。

鳥取県元気づくり総合戦略（平成27～31年度）に掲げる基本目標（8,000人）の達成に向けて、引き続き移住施策を推進していきます。

市町村名	平成29年度(速報値)						【参考】			
	上半期 (A)		下半期 (B)		平成29年度 計 (A+B)		平成28年度		増減 H29-H28	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
鳥取市	157	202	232	308	389	510	242	350	147	160
米子市	111	169	241	364	352	533	367	505	-15	28
倉吉市	64	94	76	109	140	203	126	194	14	9
境港市	94	112	46	67	140	179	79	149	61	30
岩美町	43	60	31	35	74	95	86	130	-12	-35
若桜町	6	12	11	15	17	27	17	31	0	-4
智頭町	9	23	2	3	11	26	14	36	-3	-10
八頭町	9	17	19	34	28	51	39	48	-11	3
三朝町	3	5	5	9	8	14	16	19	-8	-5
湯梨浜町	15	21	43	59	58	80	33	39	25	41
琴浦町	46	64	55	64	101	128	101	140	0	-12
北栄町	20	24	32	43	52	67	60	76	-8	-9
日吉津村	15	17	4	7	19	24	15	20	4	4
大山町	3	4	3	6	6	10	28	34	-22	-24
南部町	35	48	26	36	61	84	69	96	-8	-12
伯耆町	15	22	11	11	26	33	46	59	-20	-26
日南町	16	19	10	10	26	29	41	56	-15	-27
日野町	12	13	7	9	19	22	18	26	1	-4
江府町	5	7	4	5	9	12	7	14	2	-2
合計	678	933	858	1,194	1,536	2,127	1,404	2,022	132	105

【参考】平成23年度からの移住状況(年間)

年度	人数	累計	目標
平成23年度	504	504	2,000 (H23~26)
平成24年度	706	1,210	
平成25年度	962	2,172	
平成26年度	1,246	3,418	
平成27年度	1,952	1,952	8,000 (H27~31)
平成28年度	2,022	3,974	
平成29年度 (速報値)	2,127	6,101	

※ 速報値ですので、数値が変動することがあります。

女性活躍とっとり会議の開催結果について

平成30年5月21日

女性活躍推進課

官民一体となって県内企業における女性活躍を推進するため設立した「女性活躍とっとり会議」を次のとおり開催し、今後の女性活躍推進の取組の方向性等について全会一致で確認されました。

- 1 日 時 平成30年5月18日（金）午後1時30分から2時30分まで
- 2 場 所 白兔会館（鳥取市末広温泉町556）
- 3 メンバー 【経済団体】 鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、
鳥取県経営者協会、鳥取県銀行協会
【労働】 日本労働組合総連合会鳥取県連合会
【高等教育機関】 鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学・鳥取看護大学
【行政】 国（鳥取労働局）、県、市町村

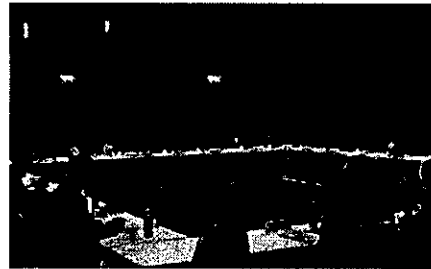
4 議事の概要

(1) 鳥取県女性活躍推進計画の2年目評価について

管理的地位に占める女性割合の上昇、女性活躍に取り組む「輝く女性活躍パワーアップ企業」やイクボス・ファミボス宣言企業の拡大など女性活躍の機運が高まっており、全19の取組項目のうち、17項目（89.5%）が「順調」。

なお、次の2項目は「やや遅れている」と評価。

- ・働き方の改革
- ・男性の家事・育児等への参画促進



(2) 平成30年度の取組について（主なもの）

《働き方改革》

- ・トップの意識改革、イクボス・ファミボスの普及拡大と実践支援（コーディネーター派遣及び「介護」や「育児」で慌てないための組織マネジメント力を高めるコンサルティングを実施）
- ・国の動きを注視しつつ、県直営の「とっとり働き方改革支援センター」でのワンストップ相談支援

《男性の家事・育児・介護等への参画促進》

- ・企業内研修の支援と出前講座、セミナー開催を通じた普及啓発を推進

《管理的地位に占める女性割合増に向けた継続的な取組（女性のキャリア形成支援）》

- ・女性がキャリアプランを描けるようロールモデルの紹介、交流会の開催
- ・キャリア形成に資するセミナーの開催

5 主な意見

- ・子育て中の男性職員に子育てに積極的にかかわるよう促しており、急な休暇にも職場全体でカバーしあう体制を整えている。このような取組が広がっていけば県内全域で働きやすい環境が整っていく。
- ・働きたい職場を問う学生アンケートでは、「仕事の内容、企業の業績」の他、「職場の雰囲気」、「休日・休暇が多い」という回答が多くみられた。企業もこうした視点を踏まえ、会社の風土づくりに取り組む必要がある。
- ・働きやすい職場環境づくりのため、引き続き働く人のニーズをしっかりと聞きながら施策につなげてほしい。育児中の人の中には時間の融通のきく短時間勤務等を望む人もおり、きめ細かいマッチングが大事である。